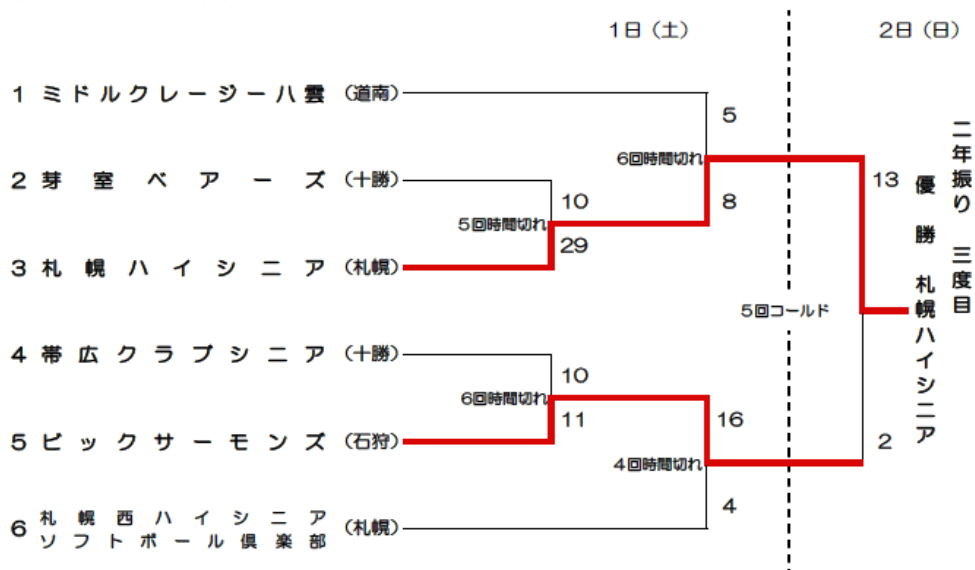


第7回 全日本ハイシニアソフトボール大会北海道予選会

期 日 平成24年9月1日(土)・2日(日)
 会 場 天使大学中沼球場(東区中沼町14-9)

監督会議 9月1日(土) 8:30~
 開会式 9月1日(土) 9:00~



第7回 全日本ハイシニアソフトボール大会 北海道予選会

2012/9/1 札幌市東区 天使大学中沼球場

1回戦 【試合開始】 9時36分 【試合終了】 11時06分 【中断時間】 【試合時間】 1時間30分 No1
 審判員 球審 吉野友昭 一塁 梅内 仁 二塁 星 諒 三塁 泉谷小百合
 記録員 外山由香 放送 上島仁美

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
芽室ベアーズ (+勝)	1	6	3	0	0					5回時間切れ					10
札幌ハイシニア (札幌)	9	4	9	3	4x										29

(バッテリー) 先攻 (投) ●堀沢辰之助 --- (捕) 中村祐典
 【勝○、負●】 後攻 (投) 杉山 嵩、○平岡康志 --- (捕) 布施晴之
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (二塁打) 糸瀬健次、中島 巖、西村英三
 (長打) (本塁打) 矢野満夫 (三塁打) 百石邦夫
 後攻 (本塁打) 矢野満夫、百石邦夫②、鈴木謙昭②、久本健一、櫻井利明、川真田勇喜男

試合速報：札幌ハイシニアは、全員安打の猛攻毎回得点を挙げ、総投「平岡」が初戦勝利投手となる。
 札幌ハイシニアは、1・3回裏共に長短打3本によって9点を挙げ、中盤で得点差が12点となった。3回表先発「杉山」から「平岡」に継投。「平岡」は先頭打者から3連続四球を与え3点を献上したが、4・5回好投してデビュー戦を勝利で飾った。芽室ベアーズは、昨年準決勝の雪辱を晴らさんと1回表1番「糸瀬」が二塁打出塁し4番「中島」二塁打で先制とし、2回表も打者10人で6点加点したが、札幌ハイシニアの猛攻を凌ぐ事が出来なかった。

1回戦 【試合開始】 11時28分 【試合終了】 13時03分 【中断時間】 【試合時間】 1時間35分 No2
 審判員 球審 長 健治 一塁 斎藤利津子 二塁 吉野友昭 三塁 安田一明
 記録員 上島仁美 放送 正部家清子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
ピックサーモンス (石狩)	9	1	1	0	0	0				6回時間切れ					11
帯広クラブシニア (+勝)	2	3	0	0	5	0									10

(バッテリー) 先攻 (投) ○久保田昌利 --- (捕) 金澤征吾、北原益二郎
 【勝○、負●】 後攻 (投) ●吉田進之丞 --- (捕) 松井達雄
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) 栗谷益太郎
 (二塁打) 千葉真二、久保田昌利、栗谷益太郎、北原益二郎
 (長打) (本塁打) --- (三塁打) ---
 後攻 (本塁打) 松井達雄、吉田進之丞、木本三郎

試合速報：ピックサーモンスは、帯広クラブシニアを振り切り準決勝に進む。
 ピックサーモンスは、1回表1番「栗谷」初球を左越え三塁打で出塁し、2番「千葉」二塁打から6連打と繋がり無死で6点挙げ、一死後に3点取り試合開始早々勢いを付けた。追加の2点は拙守で拾ったものだった。出陣を挫かれた帯広クラブシニアは、1回裏に1番「藤野」から3連打の走者を出し「藤野」本塁封殺死となったが、「佐々木」「中川」が生還して2点を返した。5回裏は先頭打者「松井」代打「吉田」4番「木本」の二塁打等で5点差は追いついたが及ばず惜敗した。

準決勝 【試合開始】 13時23分 【試合終了】 14時53分 【中断時間】 【試合時間】 1時間30分 No3
 審判員 球審 笠井孝美 一塁 梅内 仁 二塁 泉谷小百合 三塁 星 諒
 記録員 正部家清子 放送 木之内和子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
札幌ハイシニア (札幌)	1	1	3	0	3	0				6回時間切れ					8
ミドルクレージー八雲 (道南)	0	0	2	2	0	1									5

(バッテリー) 先攻 (投) ○平岡康志 --- (捕) 布施晴之
 【勝○、負●】 後攻 (投) ●小泉誠勝 --- (捕) 岡嶋 誠
 先攻 (本塁打) 鈴木謙昭 (三塁打) ---
 (二塁打) 川真田勇喜男
 (長打) (本塁打) --- (三塁打) 南橋 宏
 後攻 (本塁打) --- (三塁打) ---

試合速報：札幌ハイシニアは、「鈴木」殊勲2点本塁打放ち守備にも貢献、決勝へと進む。
 札幌ハイシニアは、悔れない初出場ミドルクレージー八雲相手に1・2回表の得点は「四球」走者で挙げ、3回表6番「矢野」から連続4安打3点が加わるが4回裏に1点差まで詰め寄られた。5回表「佐々木」飛飛「鈴木」ランニング本塁打放ち貴重な追加点となり、勝利し決勝へと進んだ。ミドルクレージー八雲は、5回を除いて毎回走者を出し、3・4回裏何れも死球と2安打で得点した。6回裏は一死満塁好機を迎え1点挙げたが後続なく潰して試合を終わる。

2012/9/1~2 札幌市東区 天使大学中沼球場

準決勝 【試合開始】 15時10分 【試合終了】 16時40分 【中断時間】 【試合時間】 1時間30分 No4
 審判員 球審 山田鶴幸 一塁 安田一明 二塁 齋藤利津子 三塁 長 健治
 記録員 外山由香 放送 上島仁美

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
札幌西ハイシニアソフトボール倶楽部 (札幌)	3	1	0	0							4回時間切れ				4
ビックサーモンス (石狩)	3	4	9	x											16

(バッテリー) 先攻 (投) ●椎葉末雄、横山 隆、椎葉末雄 --- (捕) 岡部俊彦、清光正行、岡部俊彦
 (勝:○、負:●) 後攻 (投) ○久保田昌利 --- (捕) 北原益二郎
 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (長打) 先攻 (二塁打) 大川 博、林 正行
 後攻 (本塁打) 千葉賢二 (三塁打) ---
 (二塁打) ---

試合速報：ビックサーモンスは、「久保田」投手が4回打者19人として2勝目、決勝に臨む。
 ビックサーモンスと札幌西ハイシニアソフトボール倶楽部は、1回3点の攻防は別にして、2回以降には投手・守備の力の差がはっきりと現れた。ビックサーモンスの攻撃は、「千葉」2点ランニング本塁打・四球3・安打6・盗塁8によって得られた13点が勝利をもたらした。札幌西ハイシニアソフトボール倶楽部は、1回表1死後「大川」3点タイムリーで先取点挙げて波に乗れるかと思えたが、そこには大きな懸念があった。

決 勝 【試合開始】 8時56分 【試合終了】 10時07分 【中断時間】 【試合時間】 1時間11分 No5
 審判員 球審 山田鶴幸 一塁 長 健治 二塁 吉野友昭 三塁 梅内 仁
 記録員 鈴木世津子 放送 木之内和子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
ビックサーモンス (石狩)	0	0	0	1	1						5回コールド				2
札幌ハイシニア (札幌)	4	1	3	5	x										13

(バッテリー) 先攻 (投) ●久保田昌利 --- (捕) 北原益二郎
 (勝:○、負:●) 後攻 (投) ○平岡康志 --- (捕) 布施通之
 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (長打) 先攻 (二塁打) 金澤征吾
 後攻 (本塁打) 上向吉臣 (三塁打) 矢野満夫、百石邦夫
 (二塁打) 川真田勇貴男、久本賢一

試合速報：札幌ハイシニアは、「平岡」被安打4本で5回コールドに抑え、2年振り3度目の優勝を飾る。
 札幌ハイシニアは、攻撃では8番「百石」が打点4を記録するなど、スターティングメンバー全員が安打を記録する15本を糧に13点を挙げ、守備では投手「平岡」が打者18人を安打4・四球1・三振2・失点2（自責点0）と好投し、優勝を決め2年振り3度目の全国出場を手にした。ビックサーモンスは、奇しくも2年前決勝戦の再現に気合充分で挑んだが、打線が繋がらず得点を伸ばすことが出来なかった。